

作成日： 2024年 1月 5日

2015年から2022年に当院で分娩された患者さんへ 【診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属練馬病院産科婦人科では「流産、分娩後に妊娠付属物（胎盤、卵膜）の一部または大部分が娩出せず、子宮腔内に残留すること（Retained products of conception：RPOC）についての後方視的研究」という研究を行っております。この研究は、RPOCと診断された方の治療転帰や経過中の出血の有無やその時期について分析することで、適切な管理法を確立することを主な目的としています。そのため、2015年から2022年に当院で分娩された患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

- この研究の対象となる患者さんは、西暦2015年1月1日から西暦2022年12月31日の間に産科婦人科で分娩となった方です。
 - 利用させていただくカルテ情報、および期間は下記です。
診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）
妊娠分娩記録、出生児記録
 - 期間：西暦2015年1月1日～西暦2022年12月31日
 - 情報の管理責任者：順天堂大学医学部附属練馬病院（研究責任者：荻島 大貴）
- この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認および研究機関の長の許可を受け、以下の期間で行われます。また、情報の利用を開始する予定日および外部への提供を開始する予定日は以下のとおりです。
 - 研究実施期間：研究実施許可日～西暦2025年12月31日まで
 - 利用又は提供を開始する予定日：西暦2024年1月
- 診療情報を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。
- この研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

6.この研究は、産科婦人科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

この研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、患者さんからインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しません。そのため同意を取得する代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが【お問い合わせ先】までご連絡ください。なお、情報の利用についてご了承いただけない場合でも、今後の治療などに影響することはございません。

【お問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属練馬病院

連絡先： 03-5923-3111

担当者の所属・氏名：産科婦人科 丸山 洋二郎